

市民意識調査結果（中間報告）

1. 環境に関するアンケート

1-1 調査の概要

(1) 調査目的

平成 26 年 3 月に策定した「西東京市第二次環境基本計画」を改定するにあたり、環境に関する施策の進捗状況や、市民の環境への考え・意見を把握するために、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査概要

表 調査の概要

対象者	西東京市在住の 18 歳以上の 2,000 人の市民を無作為抽出
調査期間	平成 30 年 9 月 5 日（水）～平成 30 年 9 月 18 日（火）
調査方法	調査票の郵送配布・郵送回収
回答数（回答率）	732（36.6%）（平成 30 年 10 月 22 日時点）

表 回答者の内訳

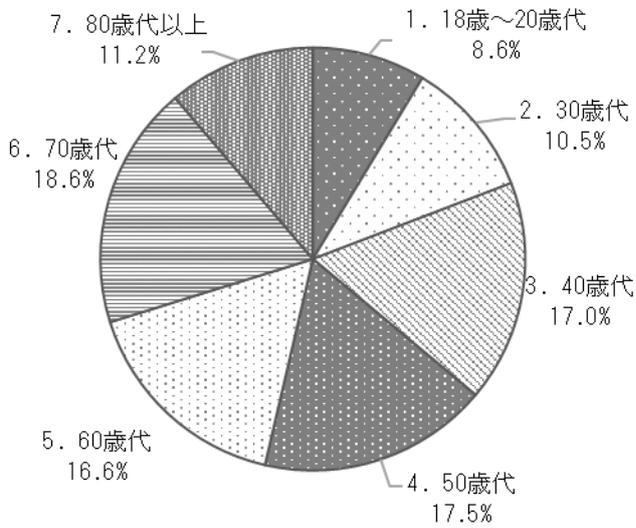
（人）

	男	女	無回答	合計
18～20 歳代	31	32	0	63
30 歳代	29	48	0	77
40 歳代	44	79	1	124
50 歳代	60	68	0	128
60 歳代	57	64	0	121
70 歳代	58	78	0	136
80 歳代	30	52	0	82
無回答	0	0	1	1
合計	309	421	2	732

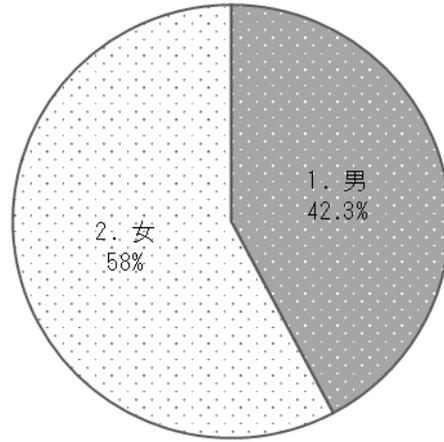
平成 30 年 10 月 22 日時点

(3) 属性

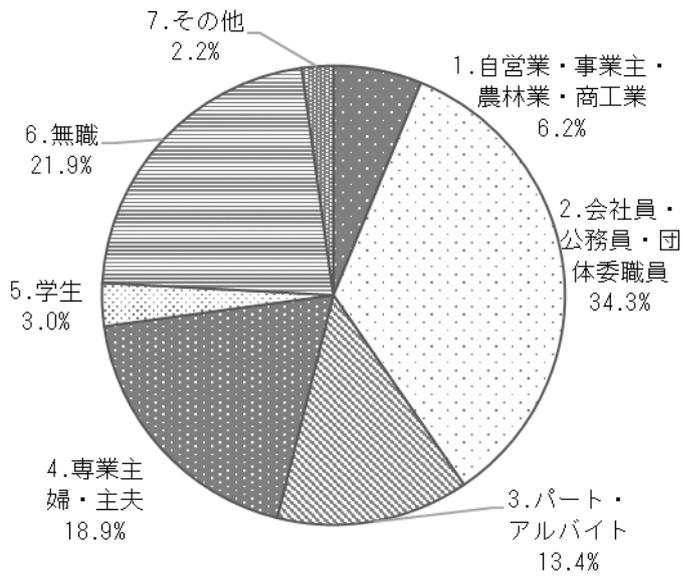
■年代



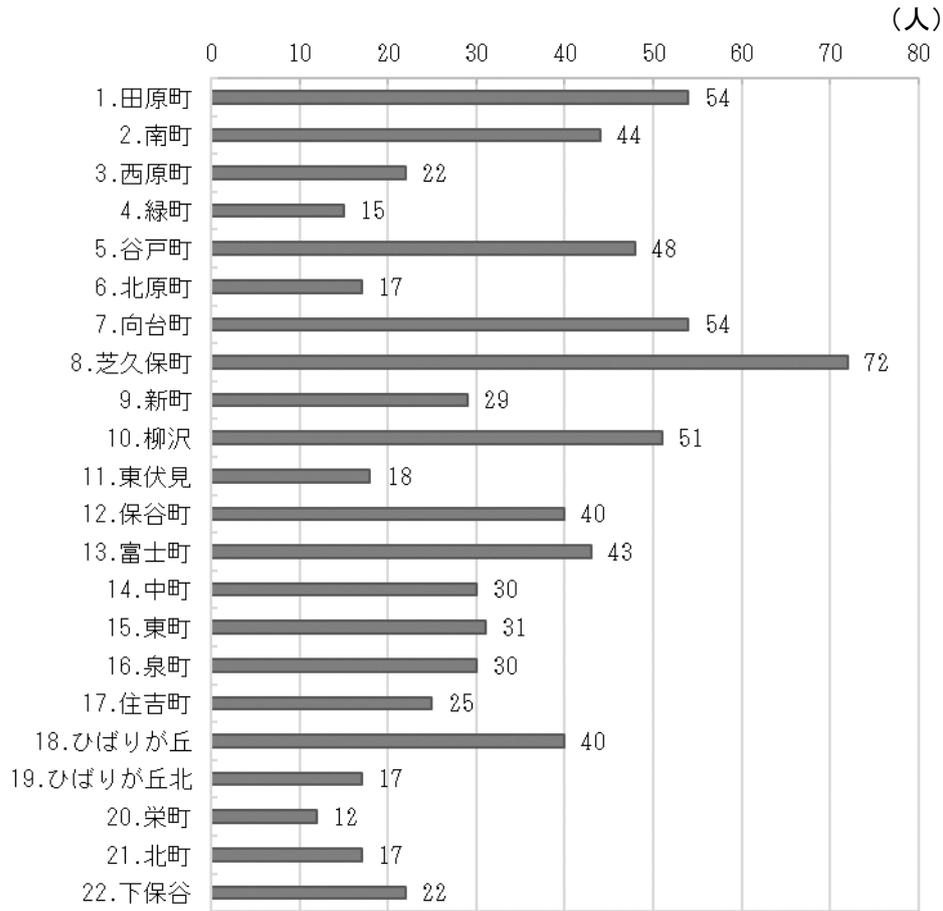
■性別



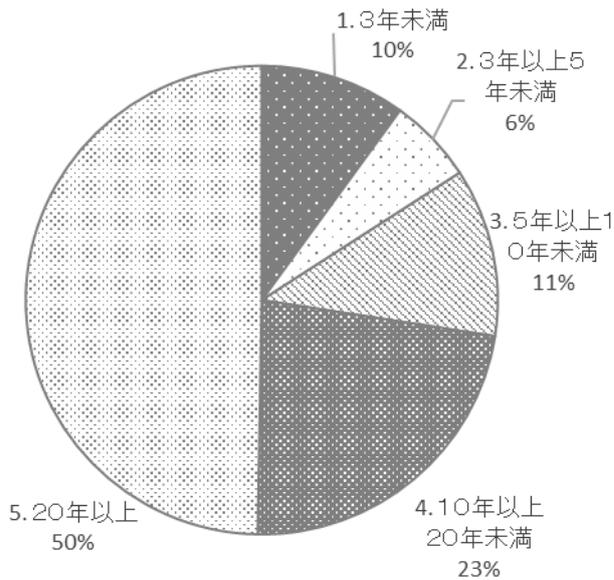
■職業



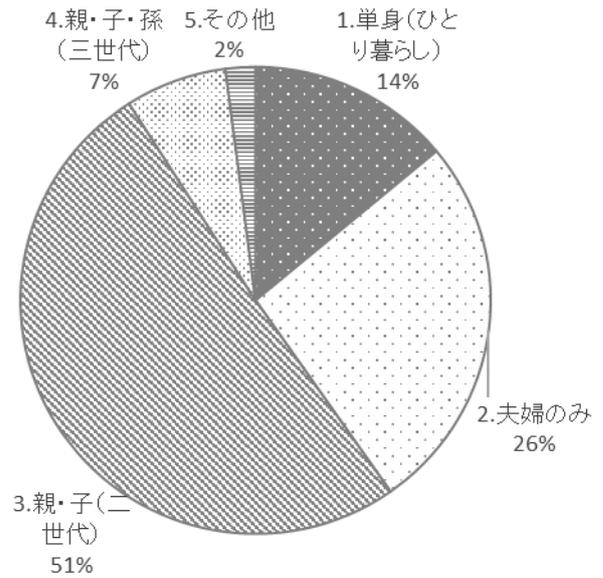
■住所



■居住年数



■家族の人数



(4) 設問

表 項目別設問一覧

■身近な地域の環境について	
問 1	西東京市域の環境についての意識・感想、および満足度
■あなたの日ごろの行動について	
問 2	環境保全のために、日常生活の中で取り組んでいる行動
■西東京市での環境保全の取り組みについて	
問 3	西東京市の環境を保全するために、市が力を入れるべき取り組みについて
問 4	環境保全につながる健康維持のために、市が力を入れるべき取り組みについて
問 5	市内で行われている環境保全活動に参加したことはあるか
問 6	持続可能な開発目標（SDGs）について知っていたか
■「地球温暖化対策」に対する考えについて	
問 7	「地球温暖化対策」の具体的な内容を知っているか
問 8	「地球温暖化対策」を個人的に取り組むことに対する意識
問 9	「地球温暖化対策」の取り組みに消極的な理由
問 10	「地球温暖化対策」の取り組みを進める際に、とるべき体制について
■現在居住している住まいについて	
問 11	環境に配慮した省エネルギー住宅へ対応させることについて
問 12	環境に配慮した設備の導入に関する住まいの状況について
■エネルギーに関する取り組みについて	
問 13	エネルギーに関する取り組みを進める中で、最重要な課題について
問 14	低炭素社会・循環型社会の構築に向けて、特に重要な市の取り組みについて

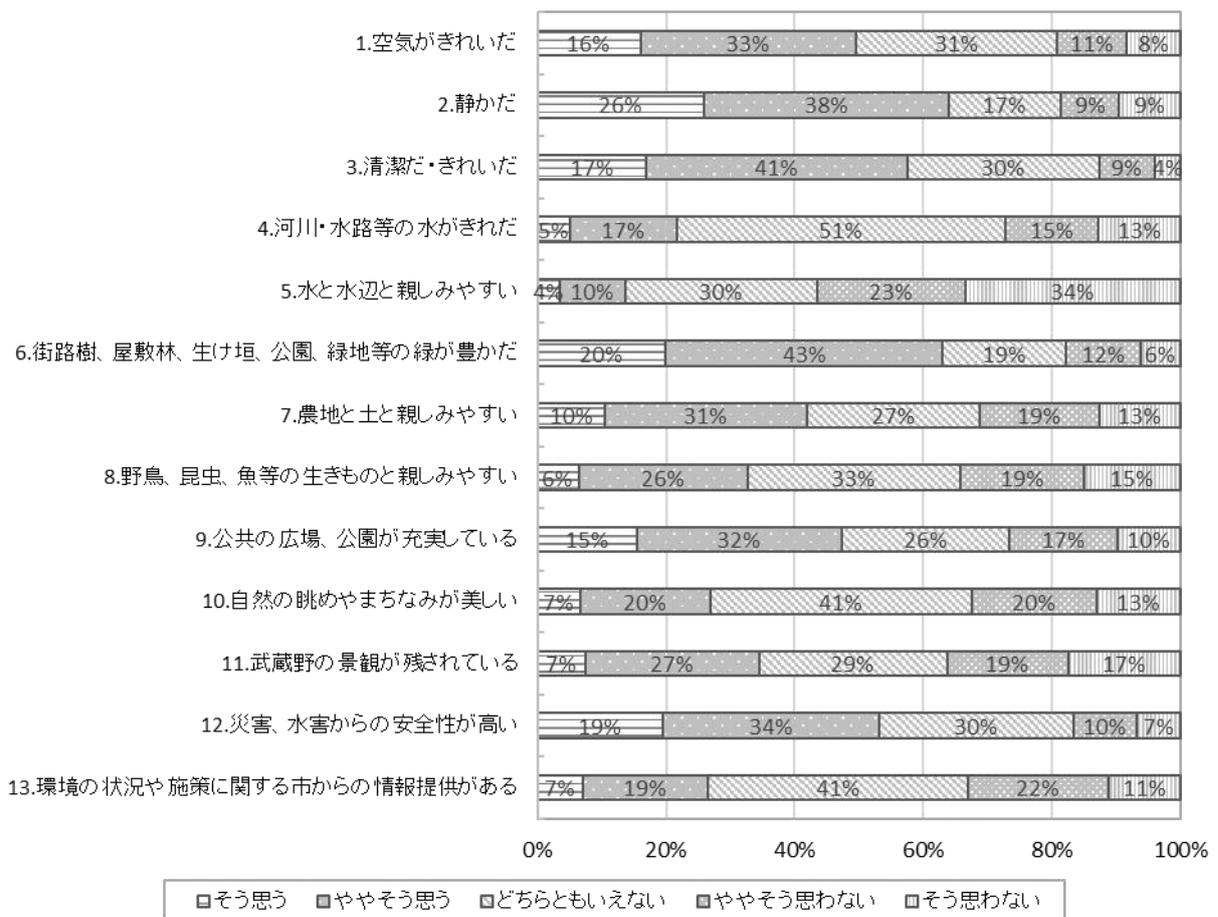
1-1 アンケート調査結果の分析

問 1 あなたがお住まいの地域の環境は、概ねどのように思いますか。また、その満足度はどれくらいですか。「意識・感想」及び「満足度」それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ 1 つ選び、○をつけてください。

【意識・感想】

意識・感想については、そう思うと回答した割合が、「2. 静かだ」(26%)で最も多く、次いで「6. 街路樹、屋敷林、生け垣、公園、緑地等の緑が豊かだ」(20%)となっている。そう思う・ややそう思うを足すと「2. 静かだ」(64%)、次いで「6. 街路樹、屋敷林、生け垣、公園、緑地等の緑が豊かだ」(63%)と高かった。

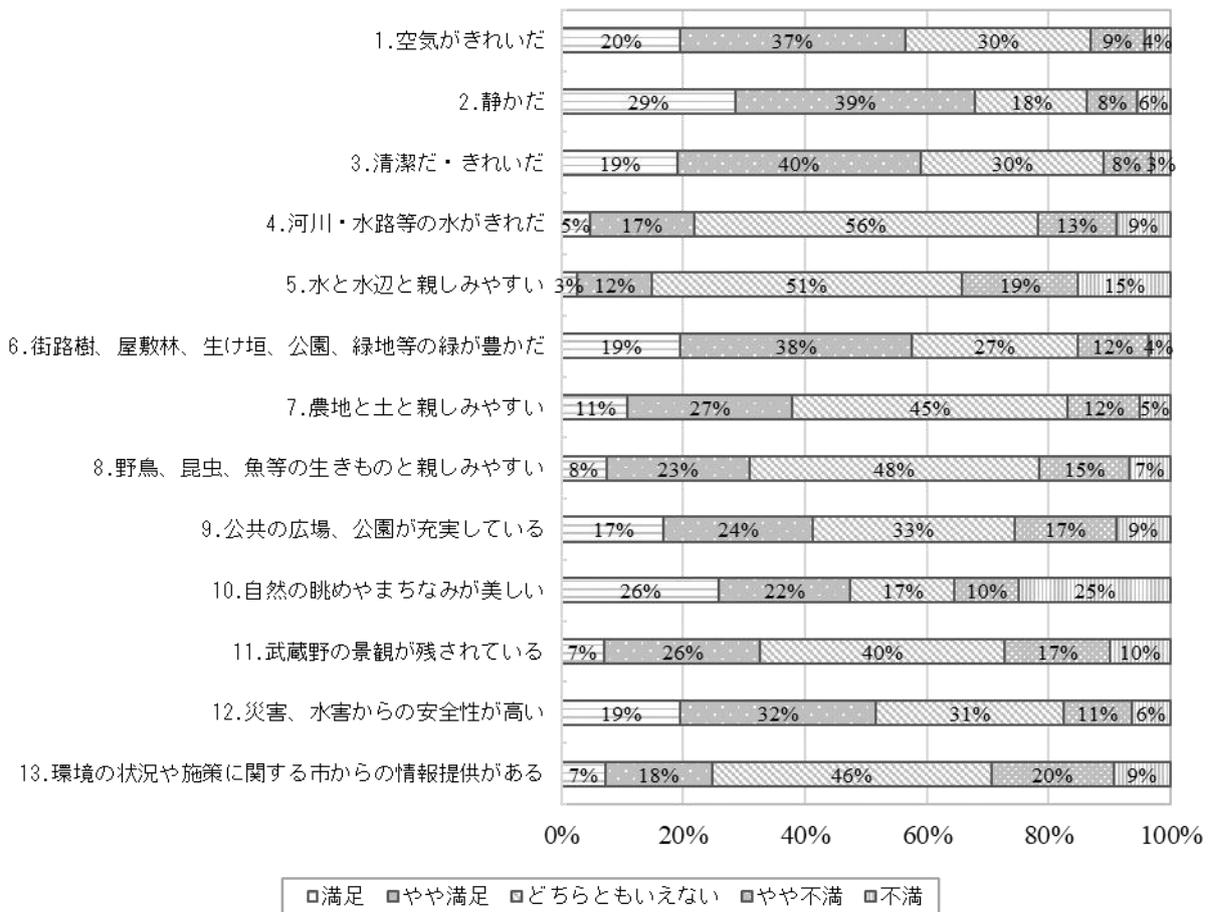
一方、「5. 水と水辺と親しみやすい」はそう思う・ややそう思うの合計が 14%と最も低く、次いで「4. 河川・水路等の水がきれい」が低かった。



【満足度】

満足度については、満足と回答した割合が「2. 静かだ」(29%) で最も多く、次いで「10. 自然の眺めやまちなみが美しい」(26%) となった。満足・やや満足を足すと「2. 静かだ」(68%) で最も多く、次いで「3. 清潔だ・きれいだ」(59%) が高かった。

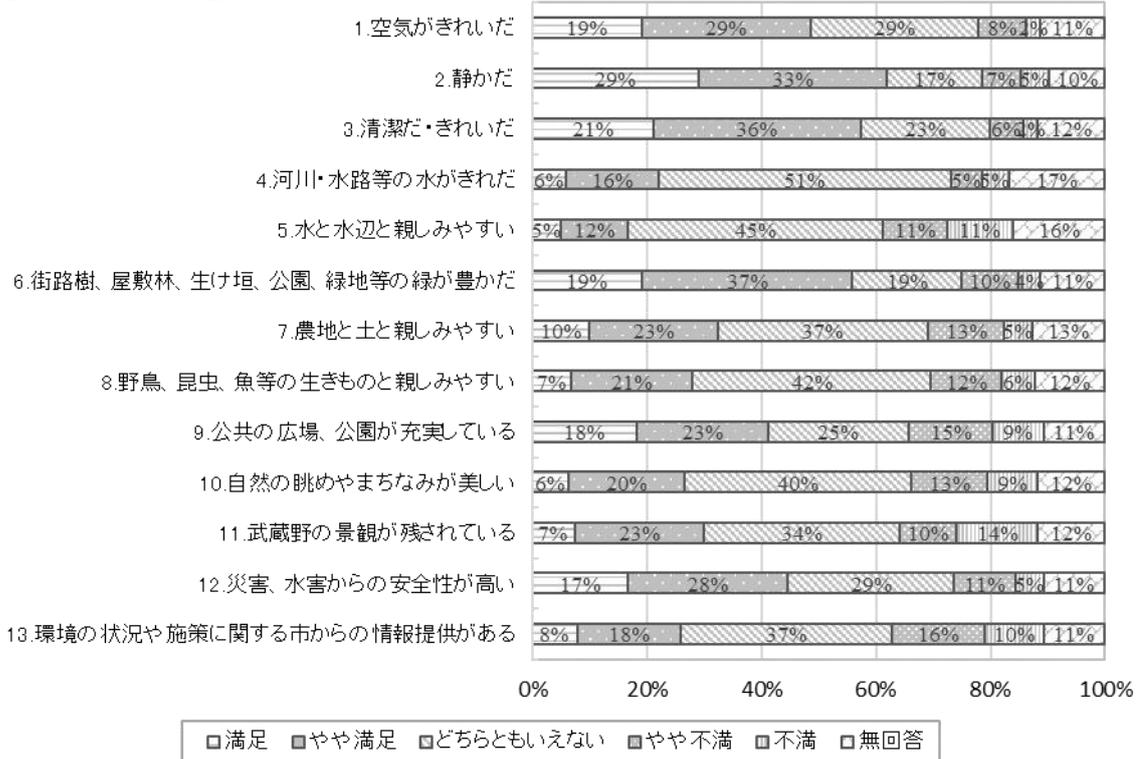
一方、「5. 水と水辺と親しみやすい」はそう思う・ややそう思うの合計が 15% と最も低く、次いで「4. 河川・水路等の水がきれいだ」(22%) が低かった。



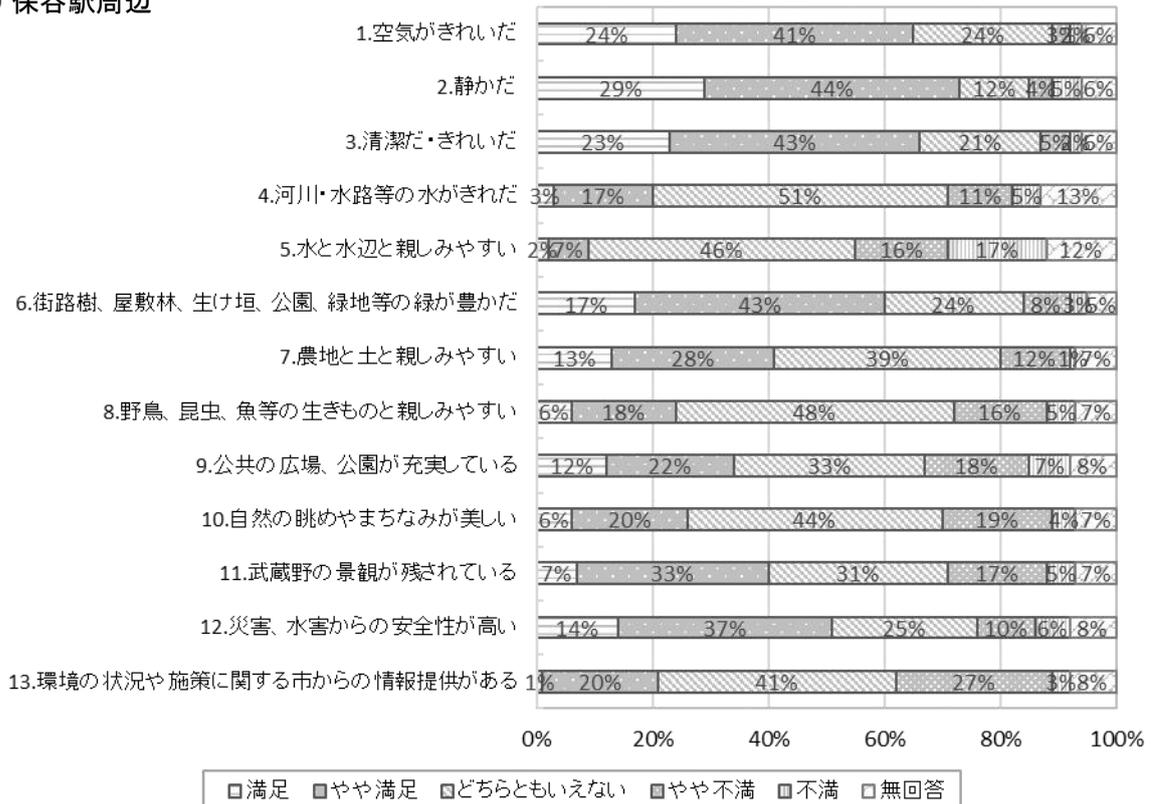
■地域別満足度

地域別満足度をみるために、都市計画マスタープランで設定している 4 つの地区毎の結果を以下に示す。

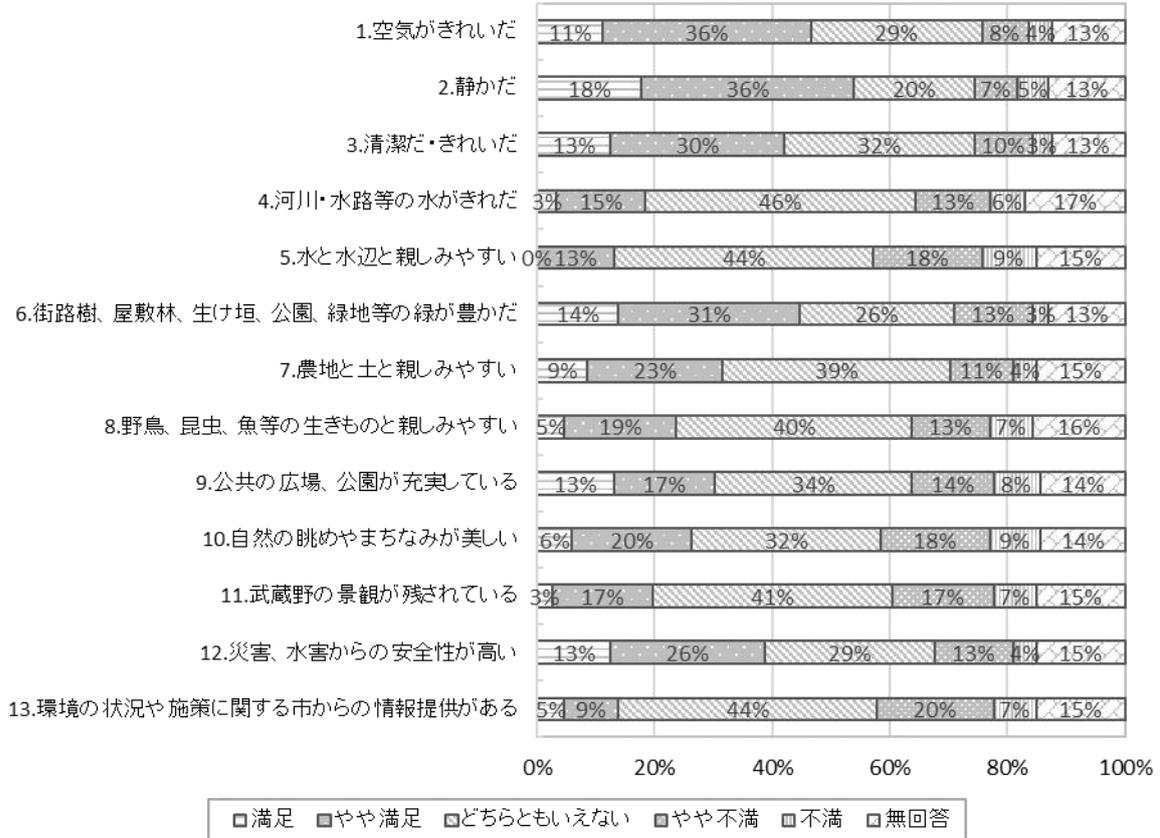
① ひばりが丘駅周辺



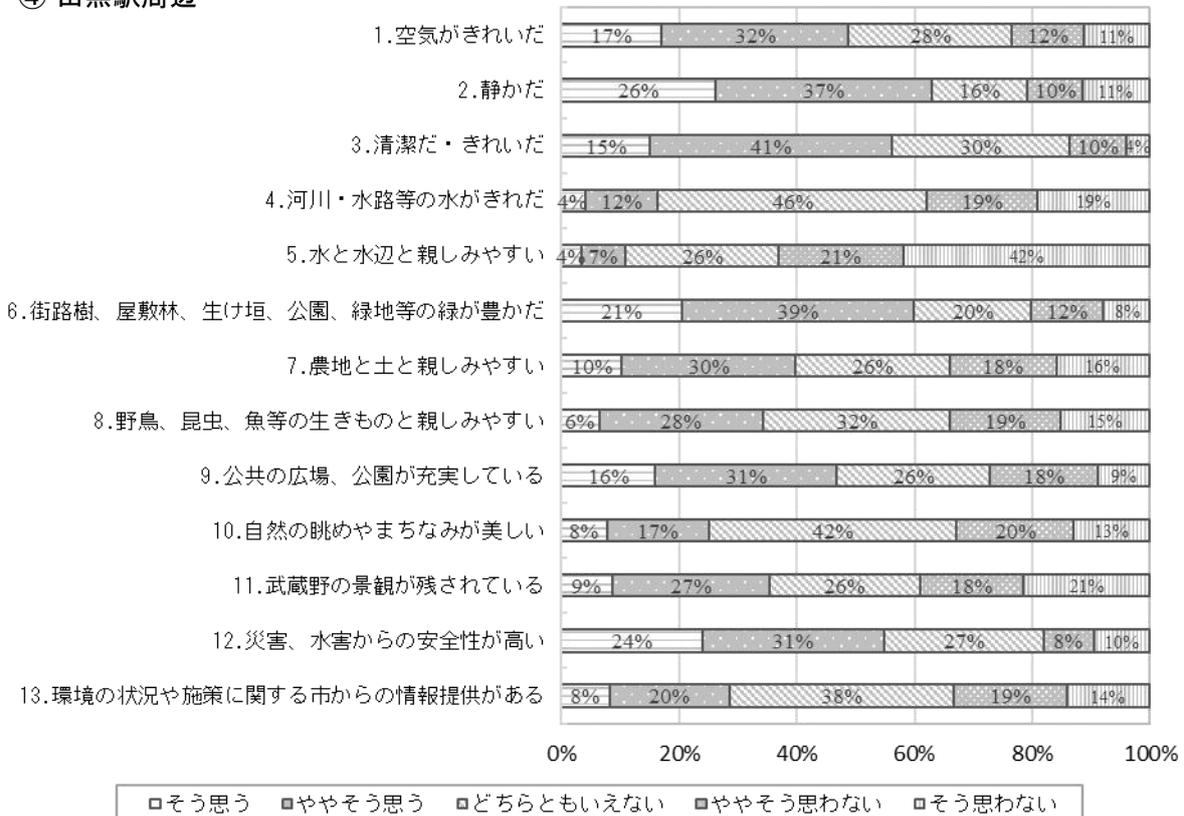
② 保谷駅周辺



③ 東伏見・西柳沢駅周辺



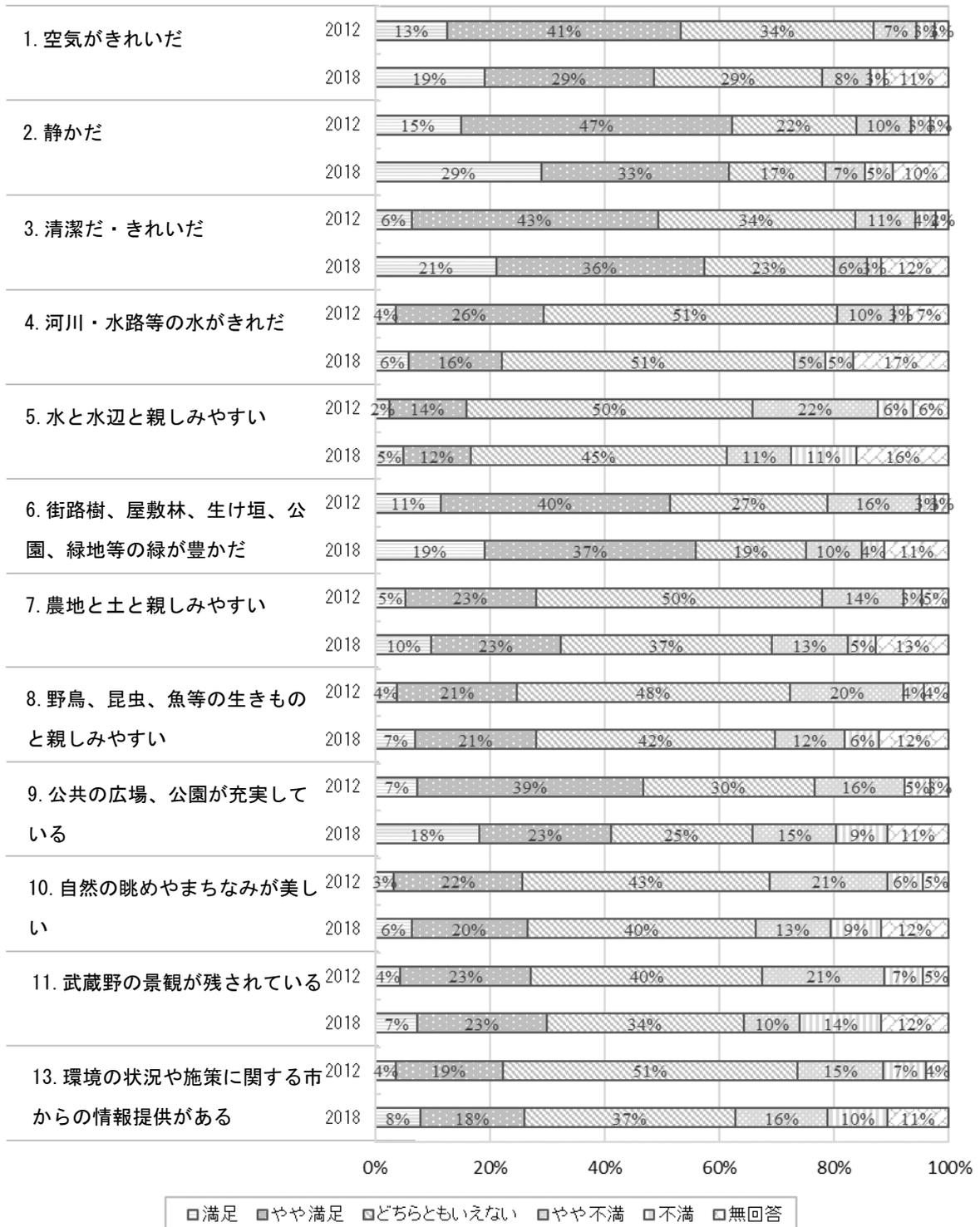
④ 田無駅周辺



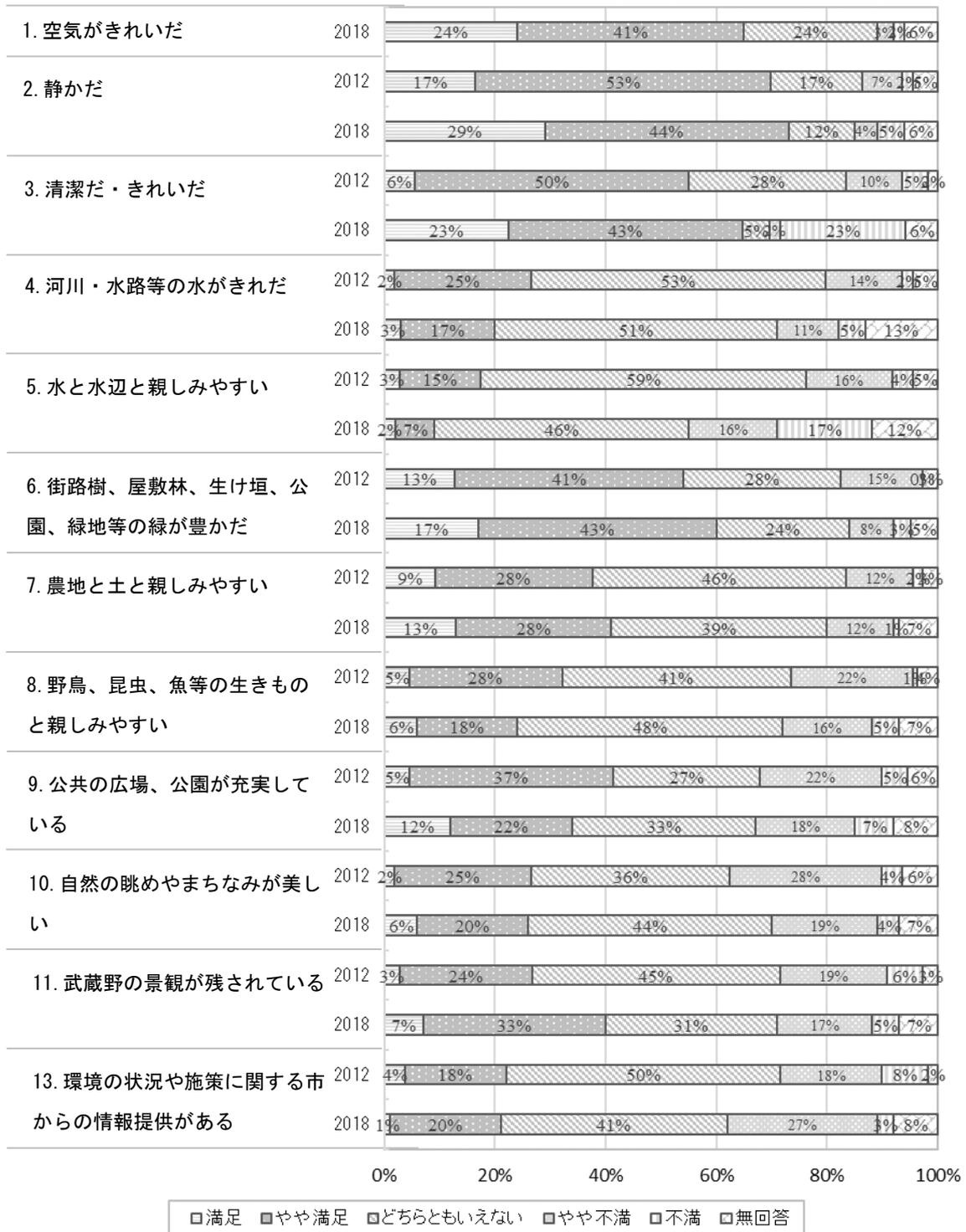
■地域別満足度の経年変化

地域別の満足度の傾向について、2012 年度と 2018 年度との比較をした結果を以下に示す。

① ひばりが丘駅周辺

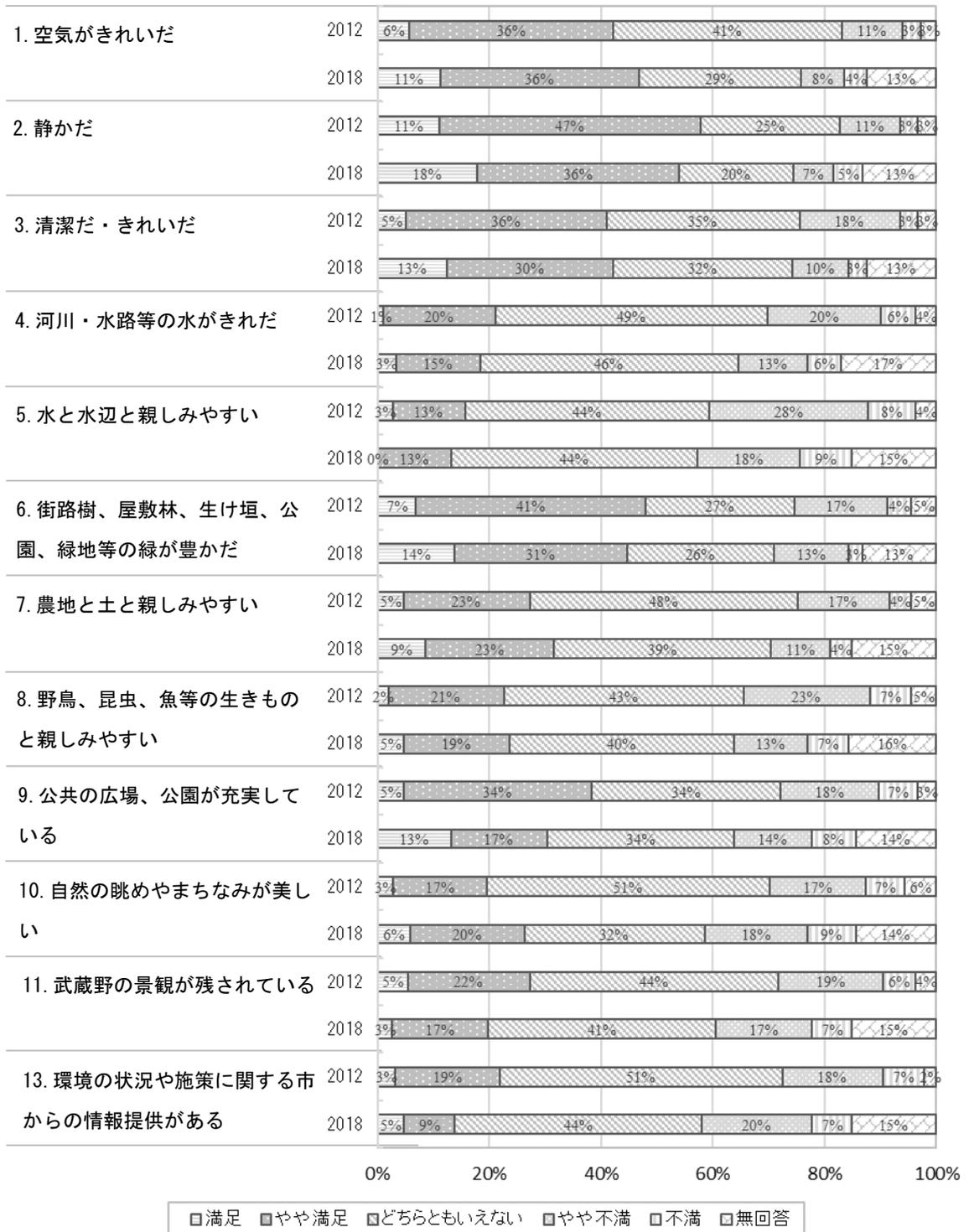


② 保谷駅周辺

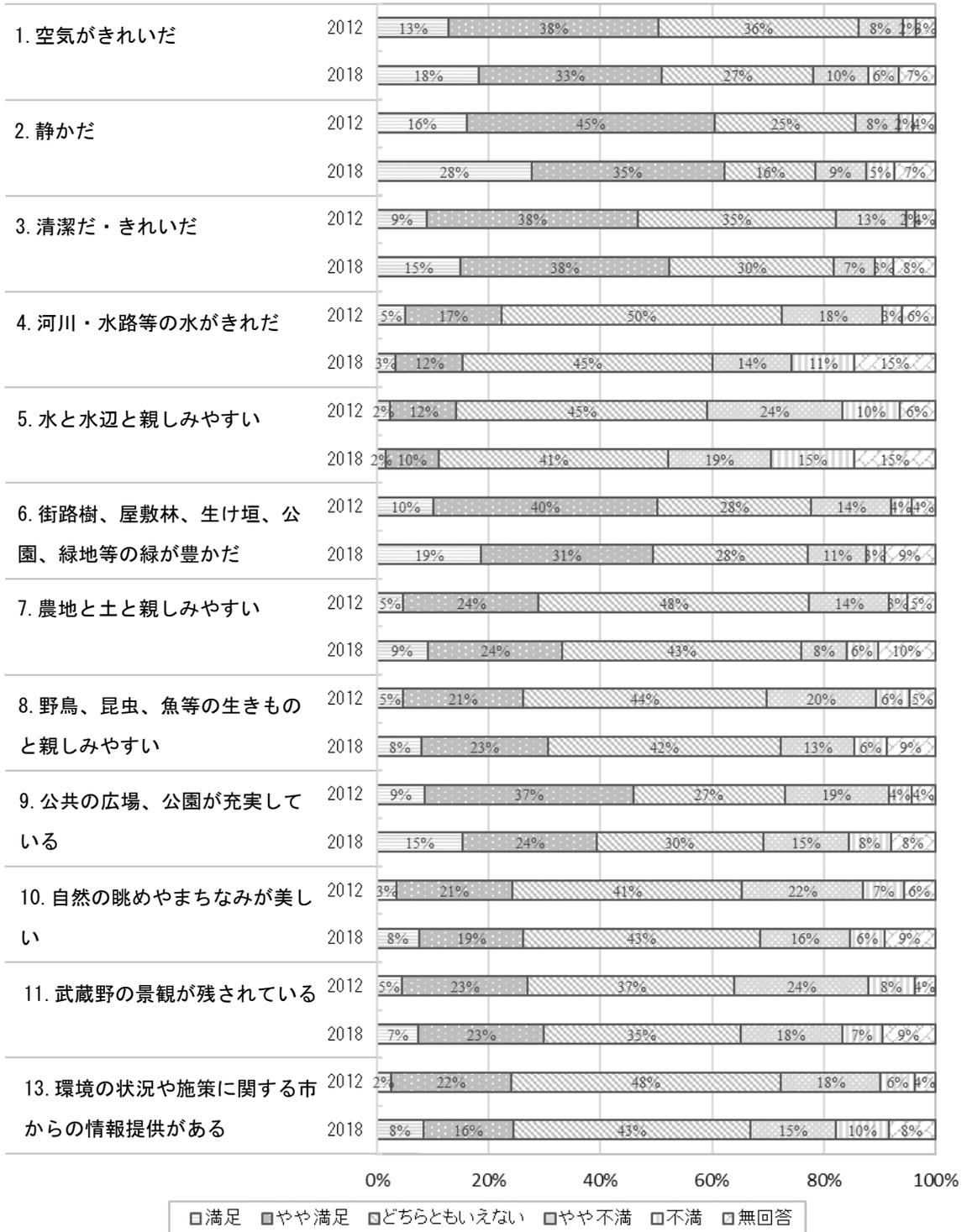


※) 1. 空気がきれいだの 2012 年度のデータは無し

③ 東伏見・西柳沢駅周辺

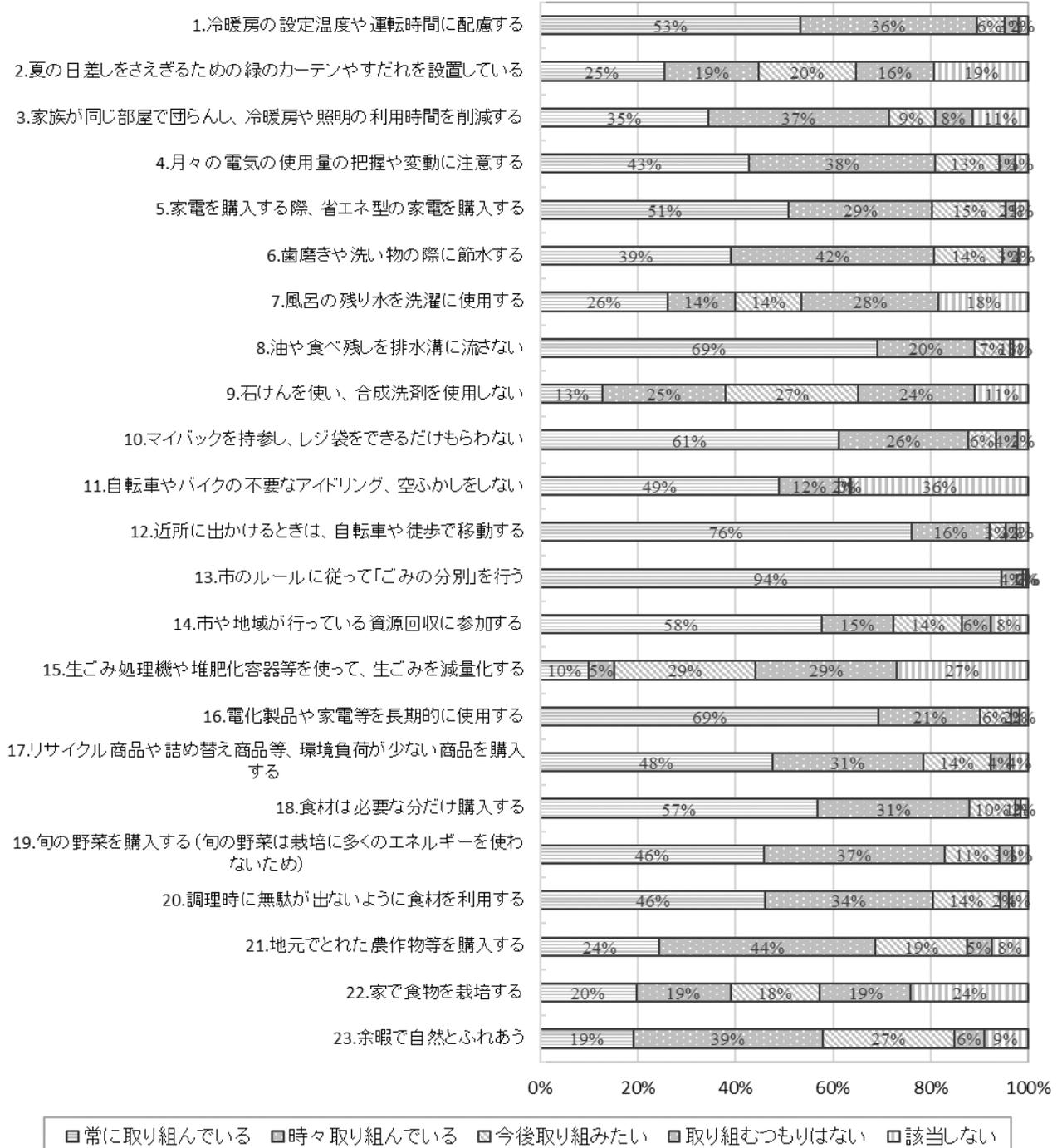


④ 田無駅周辺



問 2 環境保全のため、あなたが日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。それぞれの行動欄について、あてはまるものを 1～5 の中から 1 つ選び、○をつけてください。

日常生活の中で「常に取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合計した割合が 5 割以上になったものは 18 項目あった。特に「13. 市のルールに従って「ごみの分別」を行う」(98%) で高かった。一方で「15. 生ごみ処理機や堆肥化容器等を使って、生ごみを減量化する」は、「常に取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合計した割合が 15% と低かった。



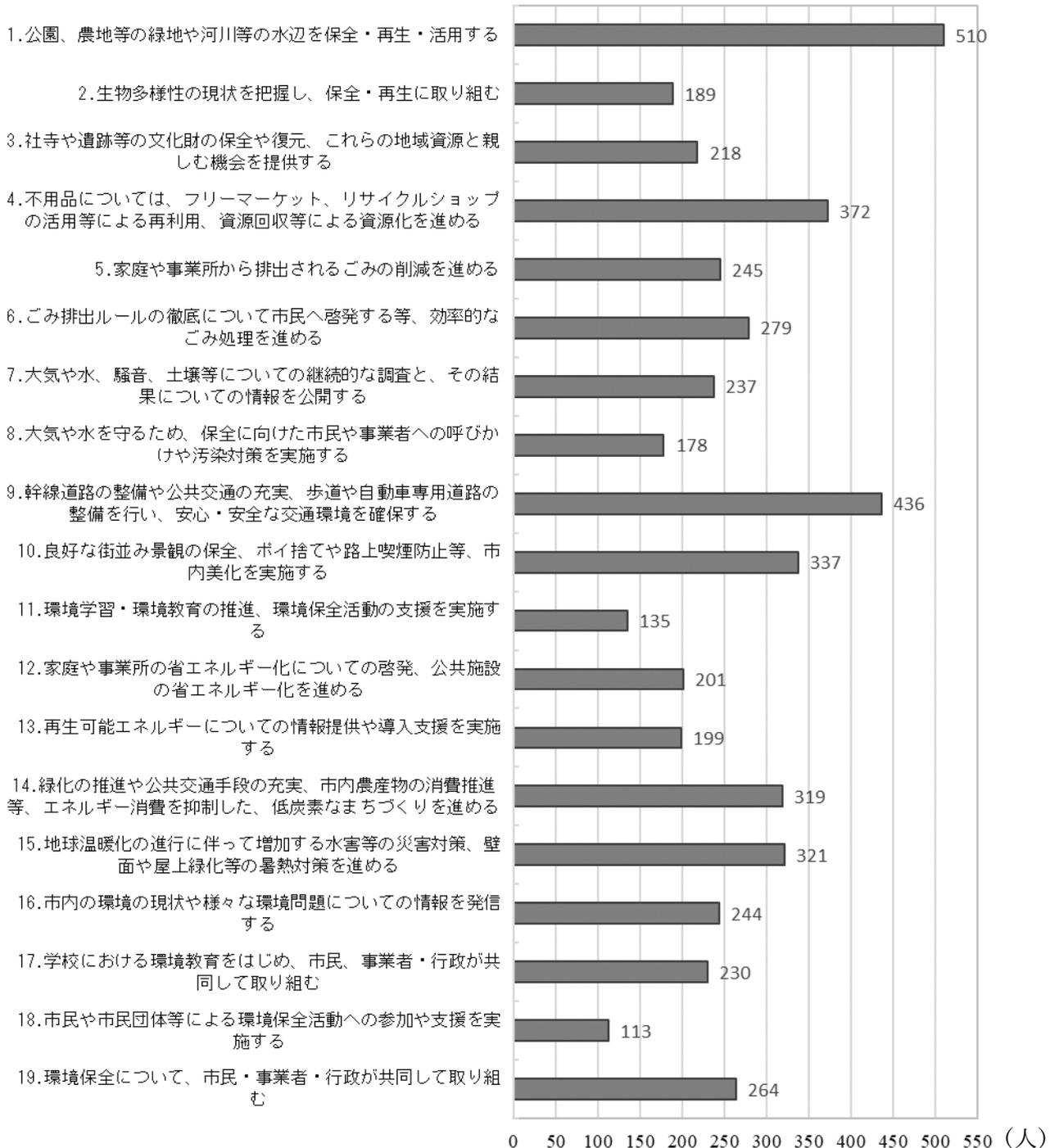
■2012 年度から 2018 年度にかけての経年変化

環境保全のために取り組む日々の活動について、2012 年度と 2018 年度との比較をした結果を以下に示す。



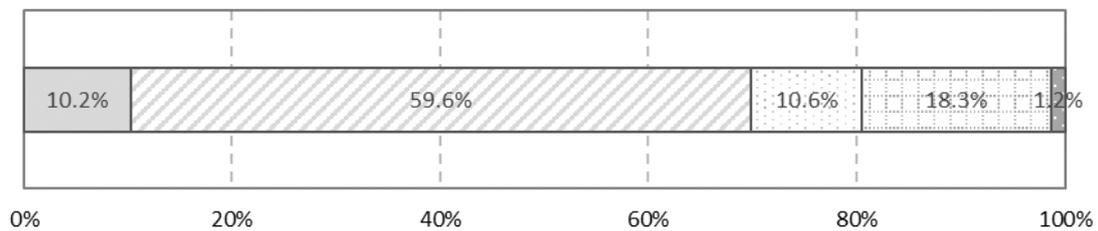
問 3 西東京市の環境を保全するために、今後、市が力を入れるべき取組は何だと思えますか。あなたが特に重要であると思う取組の番号を選んで、○をつけてください。

西東京市の環境保全のために、市が力を入れるべき取り組みについては、「1.公園、農地等の緑地や河川等の水辺を保全・再生・活用する」(510人)、次いで「9.幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自動車専用道路の整備を行い、安心・安全な交通環境を確保する」(436人)を洗濯した人が多かった。



問 4 西東京市は、平成 23 年に「健康都市宣言」を行い、こころやからだの「健康」はもとより、地域やまち全体の健康を共に考え、支え合うまち「健康応援都市」を目指しています。あなたは、環境保全につながる健康維持の取り組みとして、西東京市が特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いもの 1 つに○を付けてください。

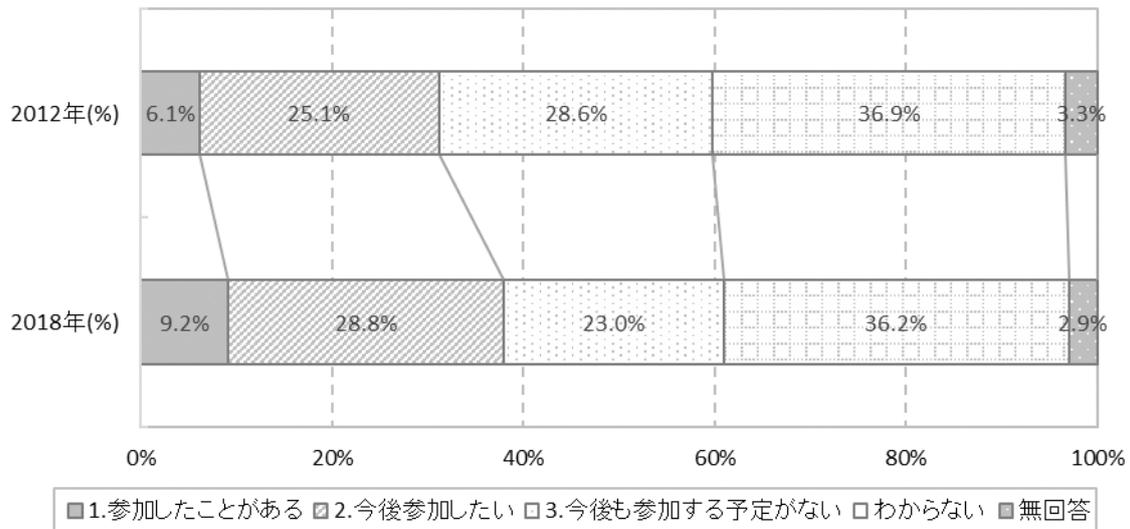
環境保全につながる健康維持の取り組みとしては、「2. 徒歩や自転車での移動がしやすいまちづくり（日常的な運動）」（59.6%）と回答した割合が最も多く、次いで「4. 市内農作物の地産地消（輸送エネルギーの削減）の推進（食の安心安全）」（18.3%）が多かった。



- 1.断熱性が高く、省エネ機能に優れた家の普及(安心安全な住環境)
- 2.徒歩や自転車での移動がしやすいまちづくり(日常的な運動)
- 3.体操講座等が集まって(クールシェア・ウォームシェア)運動する機会づくり(日常的な運動)
- 4.市内農作物の地産地消(輸送エネルギーの削減)の推進(食の安心安全)
- 5.その他

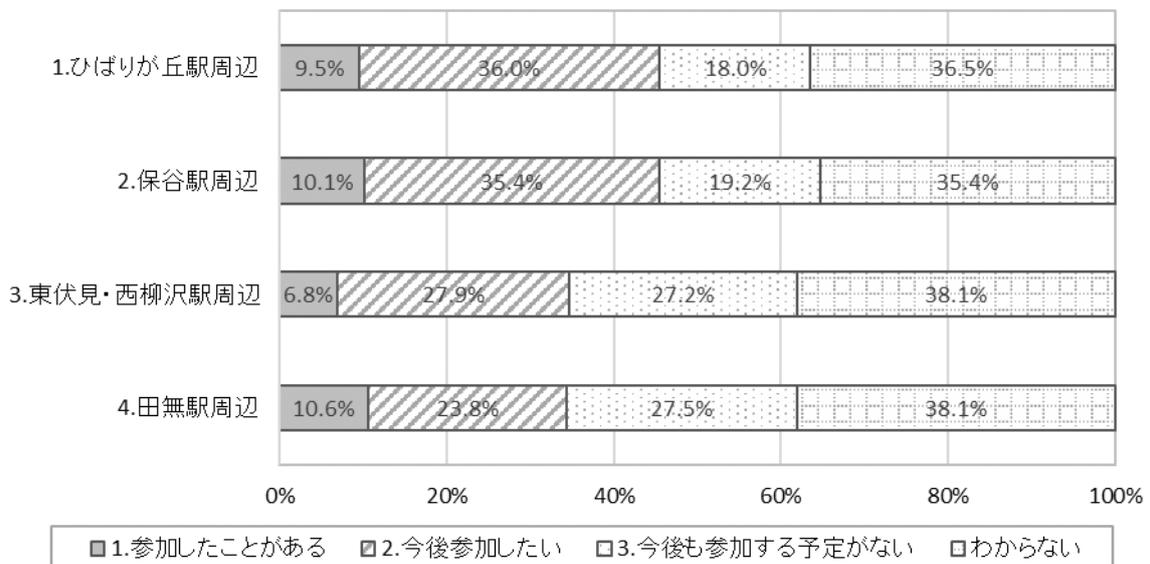
問 5 市内で行われている環境保全活動に参加したことはありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるもの 1 つに○を付けてください。

市内で行われている環境保全活動に参加したことはあるかについて、2018 年度では「1. 参加したことがある」と回答した人の割合は 9.2%と低いが、「2. 今後参加したい」と回答した人と合わせると全体の 4 割程度に参加意欲がある結果となった。2012 年度の「1. 参加したことがある」「2. 参加したい」を合わせた割合と比較すると 1 割程度増える結果となった。



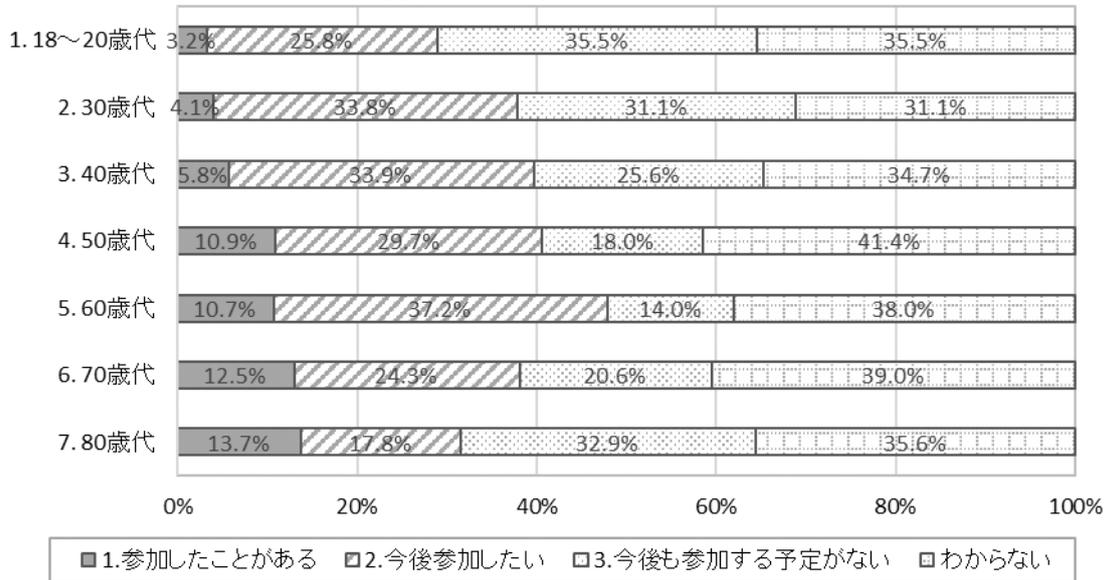
■地域別環境保全活動の参加率

地域別の環境保全活動参加率をみるために、4つの地区毎の結果を以下に示す。



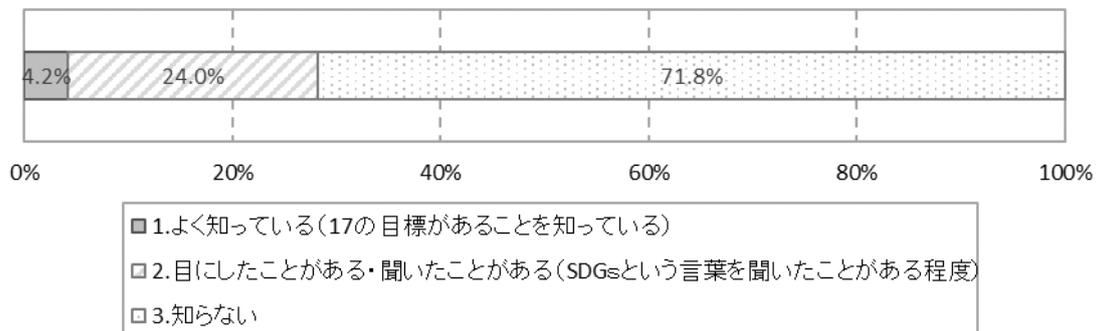
■年代別環境保全活動の参加率

年代別の結果を以下に示す。



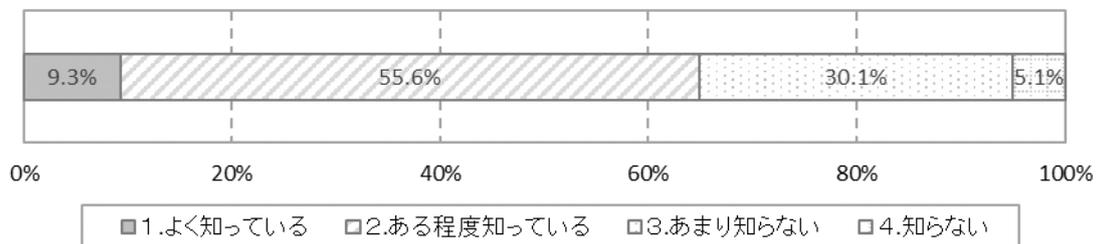
問 6 2015 年 9 月に開催された国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、この中で持続可能な開発目標（SDGs）^{エスディーゼーズ}が示されています。あなたは、この SDGs について知っていましたか。

持続可能な開発目標（SDGs）については、「1. よく知っている（17 の目標があることを知っている）」と回答した人の割合が 4.2%と低く、「2. 目にしたことがある・聞いたことがある（SDGs という言葉を聞いたことがある程度）」と回答した人と合わせても 3 割程度であった。



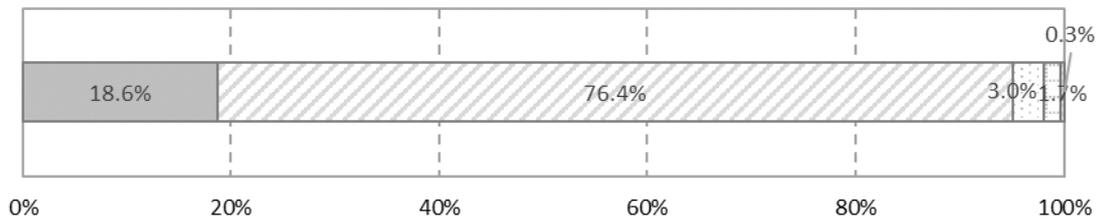
問 7 「地球温暖化対策」としては、省エネルギー化によるエネルギー消費の抑制や再生可能エネルギーの導入、廃棄物の発生抑制や緑化等、様々な手法があります。あなたは、「地球温暖化対策」の具体的な内容を知っていますか。あてはまるもの 1 つに○を付けてください。

「地球温暖化対策」の具体的な内容について、「1. よく知っている」と回答した人は 9.3%であり、「2. ある程度知っている」と回答した人を合わせると 6 割以上の人が内容について認識しているという結果となった。



問 8 「地球温暖化対策」にあなたが個人的に取り組むことについて、どうお考えですか。
あてはまるもの 1 つに○を付けてください。

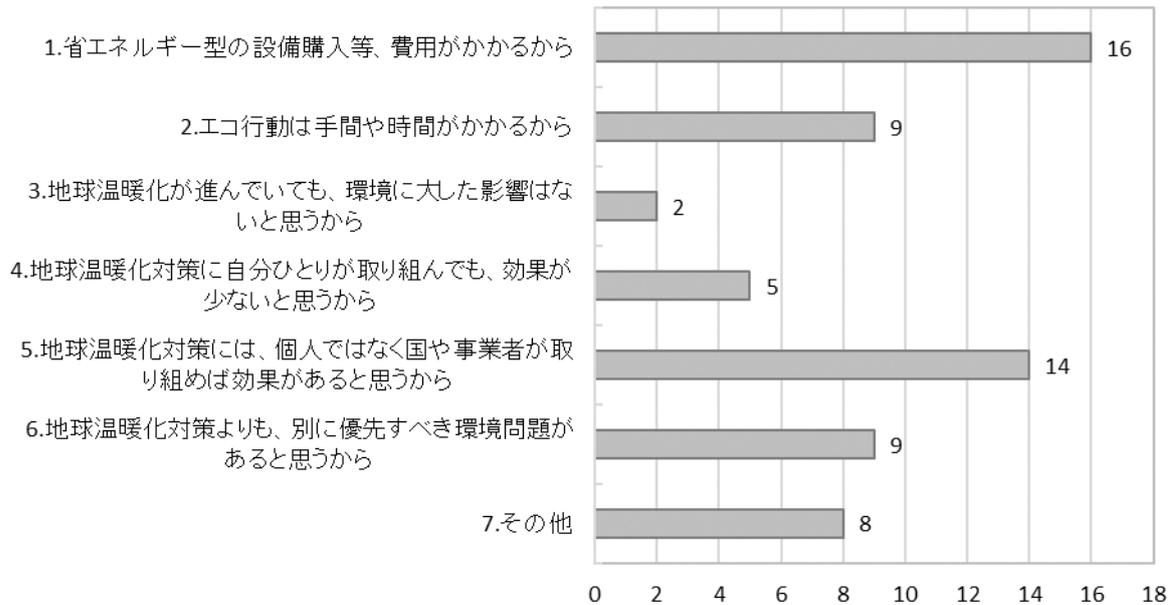
「地球温暖化対策」を個人的に取り組むことに対する意識は、「2. 取り組むことは必要だが、日常生活が今より不自由にならない範囲で取り組みたい」と回答した人の割合が 76.4% と最も多かった。「1. 取り組むことは必要であり、日常生活が今より不自由になっても取り組みたい」と回答した人と合わせると全体の 9 割以上の人取り組みたいと考えている結果となった。



- 1. 取り組むことは必要であり、日常生活が今より不自由になっても取り組みたい
- 2. 取り組むことは必要だが、日常生活が今より不自由にならない範囲で取り組みたい
- 3. 取り組むことは必要であるが、できれば取り組みたくない
- 4. 取り組むつもりはない
- 5. その他

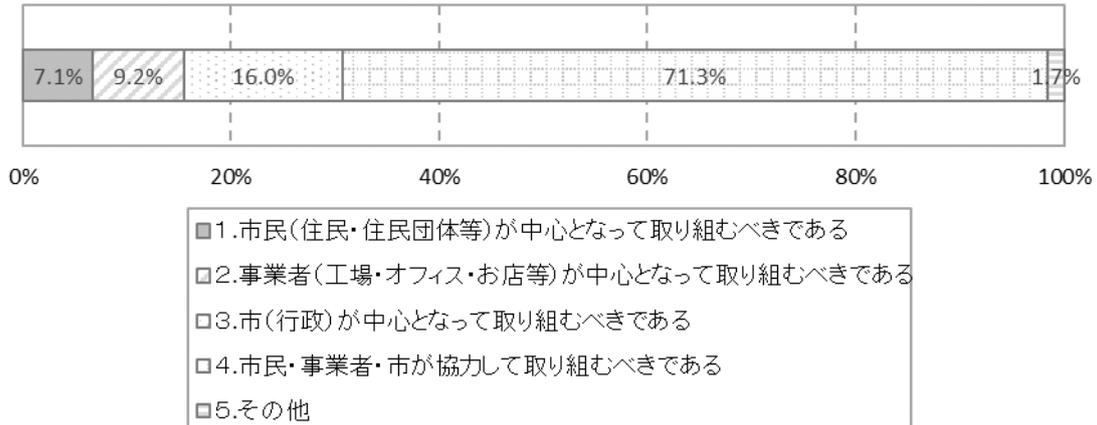
問 9 前問で 3 又は 4 を選んだ方におたずねします。あなたが「地球温暖化対策」の取組に消極的な理由はどれですか。あてはまるものを 3 つ以内で選び、○をつけてください。

問 8 で取り組みに対して消極的な回答をした人の理由は、「1. 省エネルギー型の設備購入等、費用がかかるから」と回答した人が 16 人と最も多く、次いで「5. 地球温暖化対策には、個人ではなく国や事業者が取り組めば効果があると思うから」が 14 人と多かった。



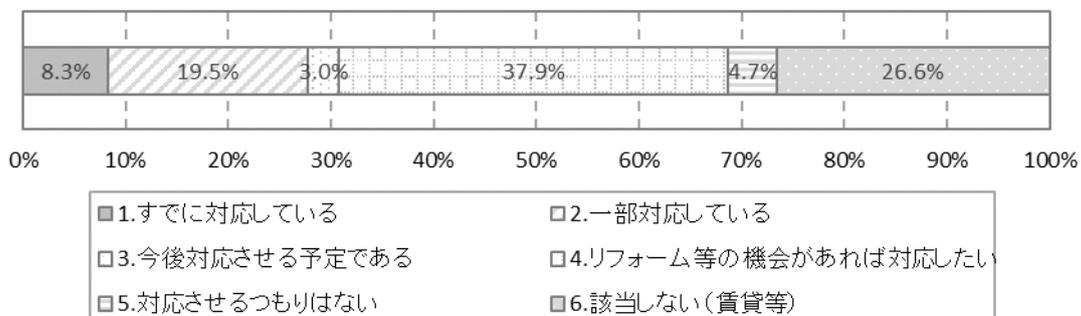
問 10 「地球温暖化対策」の取組を進めるために、あなたは、どのような体制で取り組むべきだと思いますか。あてはまるもの 1 つに○を付けてください。

「地球温暖化対策」の取組を進める際にとるべき体制については、「4. 市民・事業者・市が協力して取り組むべきである」と回答した人の割合が 71.3%と最も多く、次いで「3. 市（行政）が中心となって取り組むべきである」が 16.0%であった。

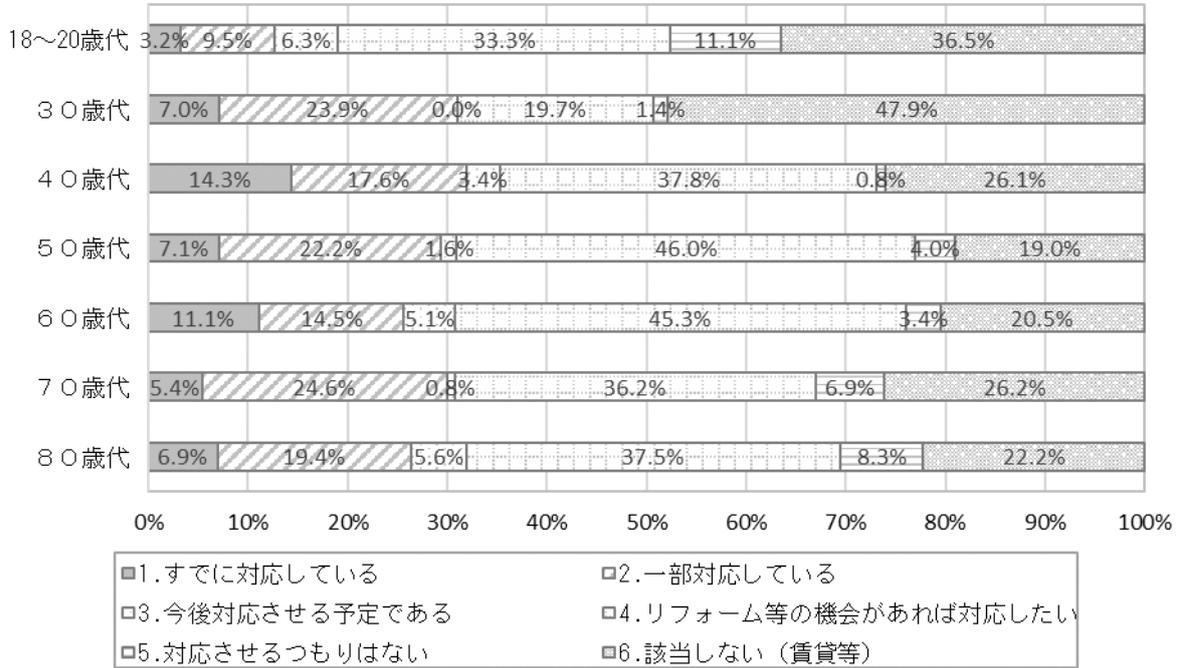


問 11 国は、2020 年に住宅を新築する際、省エネ基準への適合を義務化します。そこで、あなたの現在のご自宅について、環境に配慮した省エネルギー住宅（住宅の構造や設備等の断熱化・気密化・省エネ化を図った住宅）へ対応させることをどうお考えですか。あてはまるもの 1 つに○を付けてください。

環境に配慮した省エネルギー住宅に対応させることについては、「4. リフォーム等の機会があれば対応したい」と回答した人の割合が 37.9%と最も多く、「1. すでに対応している」、「2. 一部対応している」、「3. 今後対応させる予定である」と回答した人と合わせると 7 割程度の方が省エネルギー住宅への対応に関心があるという結果となった。



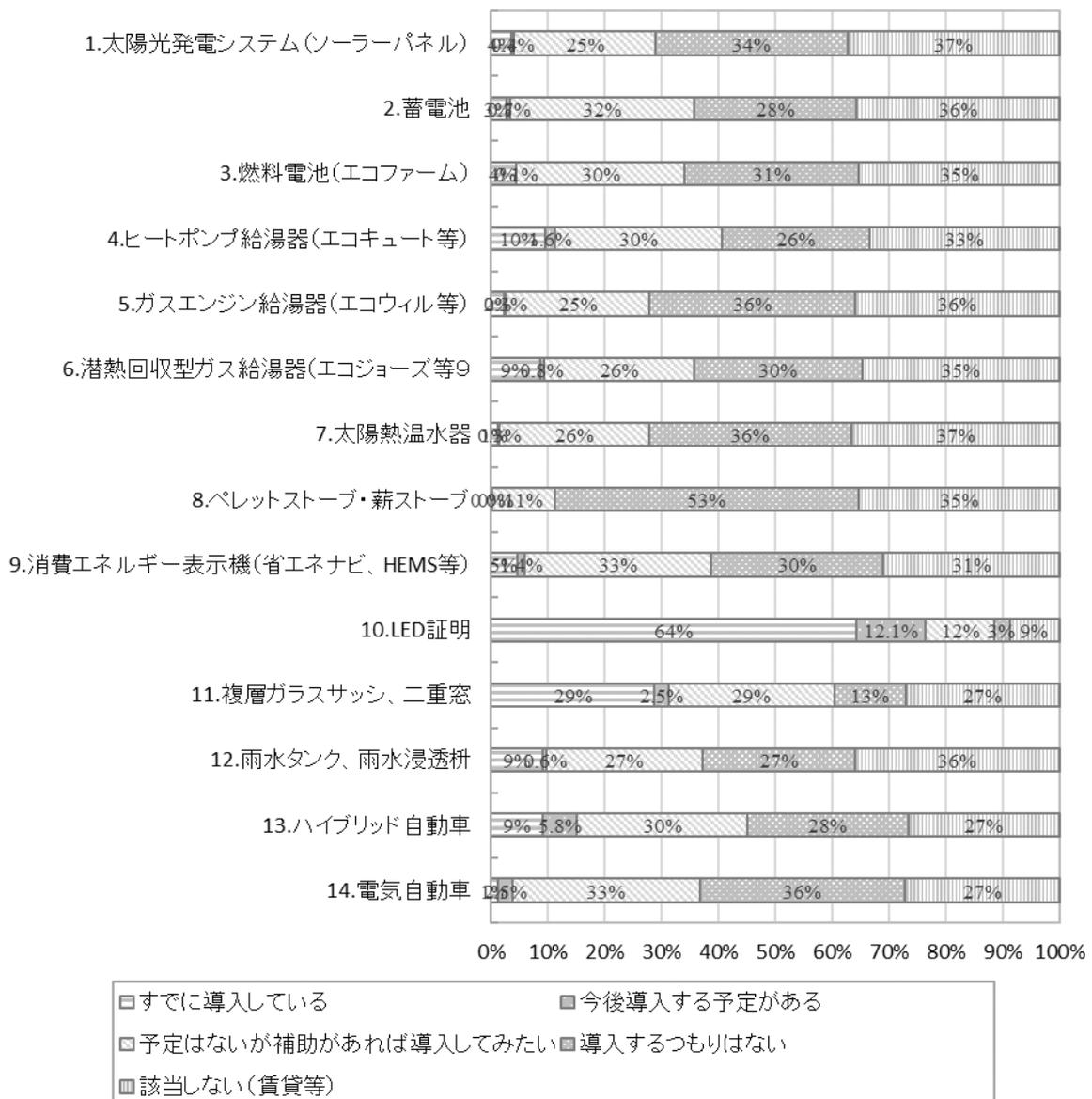
■年代別環境に配慮した省エネルギー住宅へ対応させることについて



問 1 2 あなたのご自宅について、今後、次のような環境に配慮した設備を導入する予定はありますか。それぞれの設備について、ご自宅の状況に最もあてはまるものを 1～5 から 1 つ選び、○をつけてください。

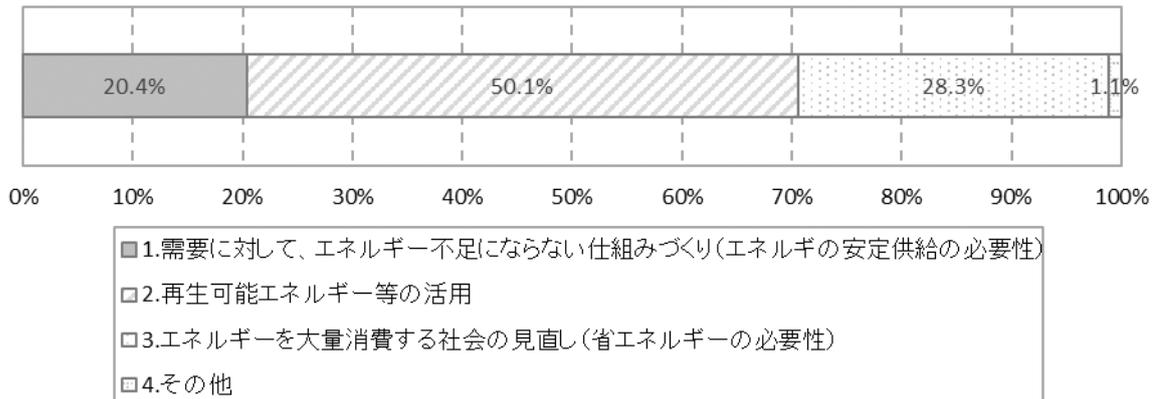
環境に配慮した設備の導入については、「すでに導入している」または「今後導入する予定がある」と回答した人の割合が「10. LED証明」で 76.4%と最も高く、次いで「11. 複層ガラスサッシ、二重窓」(31.3%)、「13. ハイブリッド自動車」(15.0%) と高かった。

一方で、他の項目全てが「すでに導入している」「今後導入する予定がある」と回答した人の割合を合わせても 1 割以下と低くなった。



問 1 3 エネルギーに関する取組を進める中で、今後、最も重要だと考えるもの 1 つに○をつけてください。

エネルギーに関する取組を進める中で、最も重要だと考える課題については、「2. 再生可能エネルギー等の活動」と回答した人の割合が 50.1%最も高く、次いで「3. エネルギーを大量消費する社会の見直し（省エネルギーの必要性）」の割合が 28.3%と多かった。



問 1 4 低炭素社会・循環型社会を構築する取組として、今後、市がエネルギーの効率的利用・省エネルギー化を進める上で、特に重要だと思う取組はどれですか。重要だと思うものを 3 つ以内で選び、○をつけてください。

低炭素社会・循環型社会の構築に向けて、特に重要な市の取り組みは、「5. 省エネルギー型の設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成等の充実」と回答した人が 334 人と最も多く、次いで「1. 庁舎や公共施設における、積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入」が 329 人と多かった。

